

掲載種選定の試行の一例

和名		未定着種のみ評価		未定着種/定着種とも評価		左列で大きな影響()はないが 影響のある()種を評価	
スバルティナ・アングリカ		(1) 生物学的な定着の可能性		生物学的条件		自然環境・社会経済的条件(記入式)	
学名		気候適合性 環境適合性 繁殖可能性 食性		(2) 被害の重大性		(B) 生物多様性保全上重要な地域への侵入 (C) 特段の被害	
<i>Spartina anglica</i>		-		競合 交雑 捕食		B: 生物多様性が高く様々な生物の生息基盤となっている河口部干潟の汽水域に優占する。同様の生態を持つ植物は在来種にはなく、侵入すると一面に繁茂することが危惧される。 C: 水産業への被害のおそれ、河川・水路の利用や治水を妨げることも懸念される。	
海外		(A1) 利用による定着の可能性		生態系の改変			
ISSG		大量に輸入 輸入物資への混入等 非意図的な導入		(3) 分布拡大・拡散の可能性			
定着状況		×		種子散布距離が大 繁殖力が強 個体、散布体が小			
外来法		?		気候・環境に適合 自然環境下での永続性			
未定着				×			
						生き餌、実験資料等として大量に使用 野外で飼育・放流・播種が実施 流通する物資への混入等	
						管理放棄の可能性、 管理の困難性	
						判断	
						掲載	
						対策優先種	
						該当	
備考: 同属の <i>Spartina alterniflora</i> (和名: ヒガタアシ) が愛知県及び熊本県に侵入定着している。種 <i>anglica</i> だけではなく、同属の他種についても検討が必要。						基準1、基準2、基準5	

和名		未定着種のみ評価		未定着種/定着種とも評価		左列で大きな影響()はないが 影響のある()種を評価	
ジャワマンゲース		(1) 生物学的な定着の可能性		生物学的条件		自然環境・社会経済的条件(記入式)	
学名		気候適合性 環境適合性 繁殖可能性 食性		(2) 被害の重大性		(B) 生物多様性保全上重要な地域への侵入 (C) 特段の被害	
<i>Herpestes javanicus</i>				競合 交雑 捕食		B: 沖縄島、奄美大島の多くの絶滅危惧種が本種の捕食の脅威にさらされている。 C: 鶏卵、鶏雛に対する養鶏被害や、農作物への被害が報告されている。	
海外		(A1) 利用による定着の可能性		生態系の改変			
ISSG		大量に輸入 輸入物資への混入等 非意図的な導入		(3) 分布拡大・拡散の可能性			
定着状況		×		種子散布距離が大 繁殖力が強 個体、散布体が小			
外来法		?		気候・環境に適合 自然環境下での永続性			
鹿児島県本土・奄美・ 沖縄島				×			
						生き餌、実験資料等として大量に使用 野外で飼育・放流・播種が実施 流通する物資への混入等	
						管理放棄の可能性、 管理の困難性	
						判断	
						掲載	
						対策優先種	
						該当	
備考:						基準1、基準2、基準3、基準5	

和名		未定着種のみ評価		未定着種/定着種とも評価		左列で大きな影響()はないが影響のある()種を評価	
クワガタムシ科		(1) 生物学的な定着の可能性		生物学的条件		自然環境・社会経済的条件(記入式)	
学名		気候適合性 環境適合性 繁殖可能性 食性		(2) 被害の重大性		(B) 生物多様性保全上重要な地域への侵入	
Lucanidae Gen. spp.				競合 交雑 捕食		× - ×	
海外		(A1) 利用による定着の可能性		生態系の改変		B: 在来種・固有種の種数が多い、南西諸島における定着や交雑の影響が特に懸念される。 C: ×	
定着状況		大量に輸入 輸入物資への混入等 非意図的な導入		(3) 分布拡大・拡散の可能性		× -	
外来法				種子散布距離が大 繁殖力が強 個体、散布体が小 気候・環境に適合 自然環境下での永続性			
未定着、逸出個体が頻りに野外で発見		×				管理放棄の可能性、 管理の困難性	
備考:						判断 掲載	
						対策優先種 ×	
						基準に該当せず	

和名		未定着種のみ評価		未定着種/定着種とも評価		左列で大きな影響()はないが影響のある()種を評価	
オオイヌノフグリ		(1) 生物学的な定着の可能性		生物学的条件		自然環境・社会経済的条件(記入式)	
学名		気候適合性 環境適合性 繁殖可能性 食性		(2) 被害の重大性		(B) 生物多様性保全上重要な地域への侵入	
Veronica persica				競合 交雑 捕食		× - ×	
海外		(A1) 利用による定着の可能性		生態系の改変		B: × C: ×	
定着状況		大量に輸入 輸入物資への混入等 非意図的な導入		(3) 分布拡大・拡散の可能性		× -	
外来法				種子散布距離が大 繁殖力が強 個体、散布体が小 気候・環境に適合 自然環境下での永続性			
日本全土に定着		-				管理放棄の可能性、 管理の困難性	
備考:						判断 未掲載	
						対策優先種 -	